

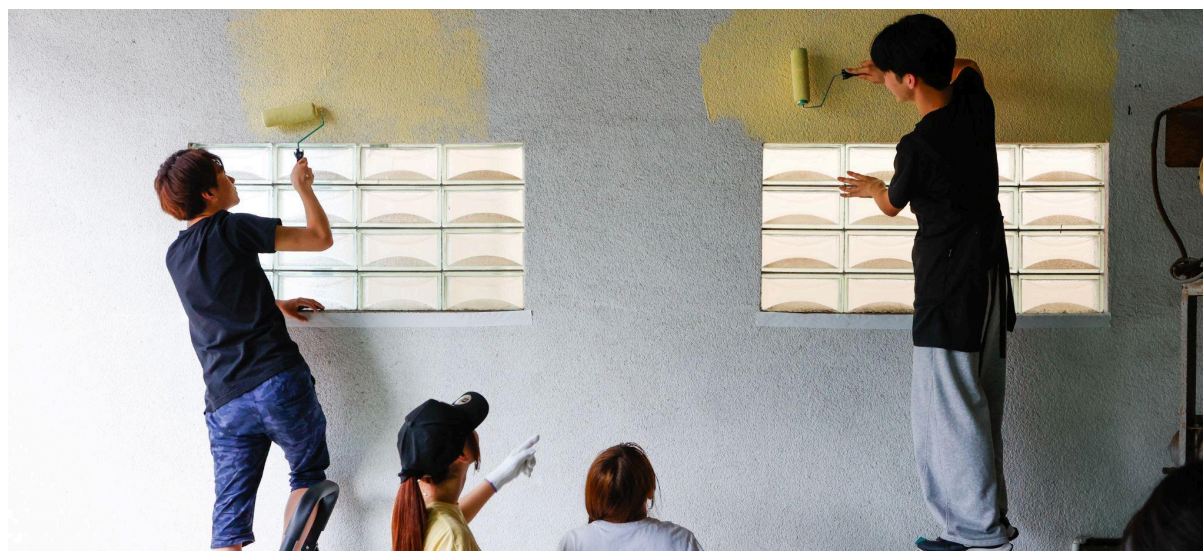


報道関係者各位  
PressRelease

2026年2月6日  
一般社団法人サトヤマカイギ

【イベントのご案内:2026年2月7日(土)～8日(日)@伊東市伊東駅前】  
アートでみんなの魅力を再発見・発信「伊東ひみつの展示会」開催  
～“伊東で展示してみたい”から始まった、合同展示会～

経済・環境・社会が調和した地域社会を実現するための活動を行う、一般社団法人サトヤマカイギ(本部:石川県白山市、代表理事:高志保博孝、URL(<http://satoyamakaigi.com/>))、以下「当団体」は、伊東で過ごす若者達の地域コミュニティ「伊東SNS部」が、伊東地域と関わりのある方のアートを展示するイベント「伊東ひみつの展示会」を開催することをお知らせします。



当団体はこれまで持続的な地域のあり方を追求することを目的に、多様なバックグラウンドを持つ参加者同士が、ビジネスアイデアの創出等を行うアイデアソンをはじめとした会議やイベント「サトヤマカイギ」を日本各地で開催してきました。このイベントは、地域の若者や事業者などが連携しやすくなる雰囲気づくりを行うと同時に、地域独自の文化や自然の魅力を掘り起こし新たな価値を創造すること企図したもので、参加者達が自発的に個性的で魅力的な地域づくりを行うことを目指しております。そして、このような活動を次世代に繋いでいくことで、持続的な地域社会・日本社会の実現に向けて取り組んでおります。

今回のイベントを主催する「伊東SNS部」も、2023年11月から12月にかけて開催された伊豆サトヤマカイギに参加した、伊東で過ごす地元の若者達が立ち上げた新しいコミュニティです。伊東SNS部は、市内外の若者がのびのびと新しいことに挑戦し、伊東の魅力を再発見や向上するための案を考え、大小問わずのんびりと叶えることで、自分なりの居場所を見つけることを目的としています。2025年開催の「伊東市ビジネスプランコンテスト VOYAGE!」では、活動の拠点でもある学生の秘密基地をつくるプランを発表し、学生部門で優勝しました。



今回開催するイベント「伊東ひみつの展示会」は、「伊東で展示会を開いてみたい」という伊東SNS部のメンバーの思いから始まった学生が企画したイベントです。日常生活ではあまりする機会のないアートに関するコミュニケーションを通じて、「自分も絵がかけれる」という自信を育むとともに、アートを通して伊東地域と地域の人々の魅力を発信します。参加者が、アートを通じて地域への理解と愛着を深めるとともに、伊東の新たな一面を発見できる機会となることを目指しています。

#### ■開催概要

日 時: 2025年2月7日、8日

開催場所: イトウヒミツキチ

〒414-0004 静岡県伊東市猪戸1丁目1-25(湯の花通り商店街から徒歩1分)

参加条件: だれでも大歓迎

入場料: 無料 出展料: 無料

開催時間: 2月7日(土)11時～17時、2月13日(水)10時～16時

一般予約不要です。ぜひご都合の良い時間に足を踏み入れてみてください。

出展をご希望の方は伊東SNS部のInstagramアカウント「[ilove\\_itoleefantasia](#)」のDMからお申し込みください。飛び込み出展も歓迎しています。

#### ■取材について

当イベントを紙面・番組などで市民の皆さまに対して広くご紹介くださいますようお願いいたします。また、当日取材も可能です。ご出席の折には、メール([info@satoyamakaigi.com](mailto:info@satoyamakaigi.com))にご返信いただくか、お電話(045-577-0499)にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

#### ■伊東SNS部について

伊東駅前で開催のイベントの開催やオススメスポットをSNSで広める活動をしている学生の集まりです。地域の商店街の方々と協力しながら、若者のエネルギーを地域に伝播させています。2025年開催の「伊東市ビジネスプランコンテスト VOYAGE！」では、活動の拠点でもある学生の秘密基地をつくるプランを発表し、学生部門で優勝しました。

#### ■一般社団法人サトヤマカイギについて

「ツナグ」をコンセプトに持続的な地域のあり方を追求し、その実現に向けて活動しています。地域の若者や事業者を「ツナギ」、地域内連携をサポートすると同時に、地域経済だけでなく、地域独自の文化や自然のリソースを掘り起こし新たな価値の創造を図る事で、個性的で魅力的な地域づくりを目指しています。そして、このような活動を次世代に「ツナグ」ことで、持続的な地域社会・日本社会の実現に向けて取り組んでおります。我々が最も大事にしている事は、「ツナグ」ための連携の意識です。元々、日本人が得意としていたお互いを尊敬しあう精神「和をもって尊し」そのものです。再度、その精神を見直すことで強い絆を生み、渦を起こすきっかけを創出します。

#### ■本件についてのお問い合わせ先

【一般社団法人サトヤマカイギ】

広報担当 嵯峨野(事務局:スマートホテルソリューションズ)

TEL: 045-577-0499 MAIL: [info@satoyamakaigi.com](mailto:info@satoyamakaigi.com)